

履修モデル（平成19年度入学生用、ただし編入学者を除く）

以下は、卒業するための履修モデルの例です。概略だけをまとめました。詳しくは、「学生便覧」および「理工学部で何を学ぶか」で確認してください。

教員免許を取得する場合は、より多くの単位が必要になります。

単位を取得できなかった場合は、必要に応じて再履修してください。

なお、時間割の変更により、下記も変更になる場合がありますので、注意してください。

（1）教養教育科目

大学入門科目（必修） 大学入門科目 I（1年前学期） 大学入門科目 II（1年後学期）

主題科目 合計22単位以上取得の事。

1年後学期に分野登録を行い、その分野で8単位以上必要。

（2）共通基礎教育科目

外国語科目 1、2年次で英語を4単位、他の外国語を4単位必要。

健康・スポーツ科目 1年次で講義・演習2単位、実習2単位必要。

（3）専門周辺科目 2年次以降に合計4単位以上取得の事。ただし、「理工学基礎技術」から2単位以上取得の事。

（4）専門基礎科目・専門必修科目 すべて必修です。

1年前学期 物理数学 A（専門基礎科目）、物理数学 B、力学 A

1年後学期 物理学演習 A、物理学演習 B、力学 B、熱力学

2年前学期 物理数学 C、力学 C、電磁気学 I

2年後学期 力学 D、電磁気学 II、物理学実験 A、

3年前学期 電磁気学 III、量子力学 A、統計力学 A、科学英語 I

3年後学期 電磁気学 IV、量子力学 B、統計力学 B

4年前学期 科学英語 II

4年（通年）卒業研究

（5）専門選択科目 合計で17単位以上取得の事。（特例規則あり）

以下の例では、物理学実験 B 以外はすべて2単位。

2年後学期 物理数学 D

3年前学期 宇宙物理学（集中講義）、物理学実験 B(3単位)、計算機物理学 A、光学

3年後学期 相対論、計算機物理学 B、放射線物理学

4年前学期 物理学通論 A、物理学通論 B

4年後学期 物性物理学